

平成 28 年 8 月 26 日
事 務 連 絡

公益社団法人東京都医師会
理事（疾病対策担当） 殿

東京都福祉保健局健康安全部長

麻しんに係る対応について

平素より、都の保健医療施策に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
麻しんについては、今般、都内を含む国内において患者が発生しているところです。
麻しんの感染力を踏まえると、今後も、新たな患者発生が危惧されます。

そのため、既に発出されている平成 28 年 8 月 24 日付厚生労働省結核感染症課長事務連絡のとおり、医療機関におかれては、発熱や発しんを呈する患者が受診した際、予防接種歴の確認等の麻しんを意識した診療を行っていただくとともに、麻しんと診断した場合は管轄保健所に対して速やかに発生を届け出ることや、感染力の強さを鑑みた院内感染対策の実施について改めてお願いいたしたく、その旨、地区医師会等関係者の皆様に御周知いただきますようお願い申し上げます。

- ※ 麻しんは、診断されたら、直ちに管轄保健所に届け出てくださいとされています。
届出様式は別紙のとおりです。東京都健康安全研究センターのホームページからもダウンロードできます。

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/survey/kobetsu/>

【担当】

東京都福祉保健局健康安全部
感染症対策課防疫担当
電話 03-5320-4482（直通）

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、麻しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いいたします。

別記様式 5-21

麻 し ん 発 生 届

東京都知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第6項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 平成 年 月 日

医師の氏名 _____ 印 _____ （署名又は記名押印のこと）

従事する病院・診療所の名称 _____

上記病院・診療所の所在地(※) _____

電話番号(※) () - (※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検査）した者（死体）の類型					
・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体					
2 当該者氏名	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 (月)		
7 当該者住所					
電話 () -					
8 当該者所在地					
電話 () -					
9 保護者氏名		10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)			
		電話 () -			

病 型		13 感染原因・感染経路・感染地域
1)麻しん（検査診断例） 2)麻しん（臨床診断例） 3)修飾麻しん（検査診断例）		①感染原因・感染経路（確定・推定） 1 飛沫・飛沫核感染（感染源となった麻疹患者・状況： () 2 接触感染（感染源となった麻疹患者・物の種類・状況： () 3 その他 ()
11 症状	・発熱（月 日出現） ・咳 ・鼻汁 ・結膜充血 ・眼脂 ・コプリック斑 ・発疹（月 日出現） ・肺炎 ・中耳炎 ・腸炎 ・クループ ・脳炎（急性脳炎の届出もお願いします） ・その他 ()	②感染地域（確定・推定） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外（ 国 詳細地域 () 渡航期間 ()
12 診断方法	陰性結果を含め実施したもの全て記載して下さい。 (ア) 分離・同定による病原体の検出 検体：咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他 () 検体採取日(月 日) 結果(陽性・陰性) 遺伝子型:() (イ) 検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 検体：咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他 () 検体採取日(月 日) 結果(陽性・陰性) 遺伝子型:() (ウ) 血清IgM抗体の検出 検体採取日(月 日) 結果(陽性・陰性・判定保留) 抗体価:() (エ) ペア血清での抗体の検出 検体採取日(1回目 月 日 2回目 月 日) 抗体価 (1回目 2回目) 結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇 検査方法：EIA・HI・NT・PA・その他 () (オ) その他の検査方法 () 検体 () 検体採取日(月 日) 結果 () (カ) 臨床決定 ()	③麻しん含有ワクチン接種歴 1回目 有(歳)・無・不明 ワクチンの種類(麻しん単抗原・MR・MMR・不明) 接種年月日(S・H 年 月 日・不明) 製造会社/Lot番号(/ ・不明) 2回目 有(歳)・無・不明 ワクチンの種類(麻しん単抗原・MR・MMR・不明) 接種年月日(S・H 年 月 日・不明) 製造会社/Lot番号(/ ・不明)
		14 初診年月日 平成 年 月 日 15 診断（検査(※)）年月日 平成 年 月 日 16 感染したと推定される年月日 平成 年 月 日 17 発病年月日(*) 平成 年 月 日 18 死亡年月日(※) 平成 年 月 日
		19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項

この届出は診断後直ちに行ってください

(1, 3, 11 から 13 欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5, 14 から 18 欄は年齢、年月日を記入すること。(※)欄は、死亡者を検査した場合のみ記入すること。(*)欄は、患者(確定例)を診断した場合のみ記入すること。11, 12 欄は、該当するものすべてを記載すること。感染症法第15条により、積極的疫学調査を実施致します(この場合、医師の守秘義務は解除されます)。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者(又は保護者)の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

ア. 集団生活：無、有(園児、小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他())
イ. 集団に接する職業：無、有(保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他())
ウ. 集団に接する機会：無、有(施設での実習、ボランティア活動、その他())

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者(あるいは保護者)の同意 (有・無)

※ 下記の個人情報等については、患者（あるいは保護者）の同意が取れた場合に、情報提供をお願い致します。
質問については、可能な範囲でご記入ください。

保健所における麻しん対応調査票

所属名（保育園、学校、勤務先等）	
連絡先（保育園、学校、勤務先）	（ ） —
同居している家族の構成	

質問1 診断前までに以下の症状がありましたか。該当する項目を○で囲んでください。また、症状があった場合には詳しく教えてください。

- 1) 37.5℃以上の発熱：無、不明、有（期間： 月 日～ 月 日）
- 2) 発疹：無、不明、有（頭部、顔、体、手足、その他（ ）、期間 月 日～ 月 日）
- 3) 咳：無、不明、有（ 月 日～ 月 日）
- 4) 鼻水：無、不明、有（ 月 日～ 月 日）
- 5) 目の充血：無、不明、有（ 月 日～ 月 日）

質問2 患者の周囲の方についてお聞きします。

- 1) 患者家族や周囲の方で、最近、麻しんに罹患した人はいますか。
無、有（患者との関係： 、年齢： 歳）
- 2) 患者家族などで麻しんに未罹患かつワクチン未接種の人はいますか。
無、有（患者との関係： 、年齢： 歳）

質問3 感染の機会に係わる生活状況についてお聞きします。発熱初日の2週間前から解熱3日後までの期間についてお答えください。

- 1) 海外渡航歴 無、有 渡航先（ ）、渡航期間（ 月 日～ 月 日）
- 2) 最終登園・登校・出勤日：（ 月 日）
- 3) 人が多く集まる所（クラブ、習い事、イベント等）の参加：無、有（場所： 時期： ）

事務連絡
平成28年8月24日

各 { 都道府県 }
 { 保健所設置市 } 衛生主管部(局)長 殿
 { 特別区 }

厚生労働省健康局結核感染症課長

麻しんの広域的発生について(情報提供)

日頃から、感染症対策に関しては、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

麻しんについては、平成27年3月27日付けで、世界保健機関西太平洋地域事務局により、日本が麻しんの排除状態()にあると認定されましたが、その後も渡航歴のある患者や、その接触者からの患者の発生も散見されております。麻しん患者が感染性を有する時期に、広範囲の不特定多数の者に接触した場合、広範な地域において麻しん患者が発生し、医療機関を受診する可能性があります。

今般、麻しん患者の届出数が増加していることから、管内の医療機関等に対して、発熱や発しんを呈する患者が受診した際は予防接種歴の確認など麻しんの発生を意識した診療を行うことや、麻しんと診断した場合に都道府県知事等へ速やかに届け出ること、また、麻しんの感染力の強さに鑑みた院内感染対策を実施することについて、周知いただけますようお願いいたします。

なお、同様の内容について、公益社団法人日本医師会宛て連絡しましたので、御承知おき願います。

麻しんの排除の認定基準

適切なサーベイランス制度の下、土着株による麻しんの感染が3年間確認されないこと、又は遺伝子型の解析によりそのことが示唆されることを言う。